

Novell ZENworks Endpoint Security Management 3.5 with 4.0 Client for Vista

2008年12月2日

1 概要

このドキュメントでは、Novell® ZENworks® Endpoint Security Management 4.0 Client for Vista で確認されている問題について説明しています。この製品はクライアント製品で、32ビット版 Microsoft* Windows* Vista* の Support Pack 1、または 32ビット版 Windows Server* 2008 に対応しています。

- ◆ ZENworks Endpoint Security Management 4.0 Client for Vista のインストール手順については、『*ZENworks Endpoint Security Management 4.0 Client User Guide*』を参照してください。

ZENworks Endpoint Security Management 3.5 with 4.0 Client for Vista では、ZENworks Endpoint Security Management 3.5 Server と管理コンソールを使用します。この結果、Windows XP は 3.5 クライアントで、Windows Vista は 4.0 クライアントでそれぞれ管理するという体制が整います。

- ◆ ZENworks Endpoint Security Management 3.5 Server のインストール手順については、『*ZENworks Endpoint Security Management インストールガイド*』を参照してください。
- ◆ ZENworks Endpoint Security Management 3.5 の管理タスクについては、『*ZENworks Endpoint Security Management 管理ガイド*』を参照してください。

2 確認されている問題

この項では、ZENworks Endpoint Security Management 3.5 with 4.0 Client for Vista で発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 2 ページのセクション 2.1 「ZENworks Endpoint Security 4.0 Client for Vista」
- ◆ 3 ページのセクション 2.2 「インストール」
- ◆ 4 ページのセクション 2.3 「通信ハードウェアの制御」
- ◆ 4 ページのセクション 2.4 「データの暗号化とパフォーマンス」
- ◆ 5 ページのセクション 2.5 「ファイアウォール」
- ◆ 5 ページのセクション 2.6 「ローカリゼーション」
- ◆ 6 ページのセクション 2.7 「ネットワーク環境」
- ◆ 6 ページのセクション 2.8 「ストレージデバイス」
- ◆ 6 ページのセクション 2.9 「VPN 接続」

2.1 ZENworks Endpoint Security 4.0 Client for Vista

この項では、ZENworks Endpoint Security 4.0 Client を Windows Vista マシン上で使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 2 ページの「ZENworks Endpoint Security Management 4.0 Client for Vista の未対応機能」
- ◆ 2 ページの「Vista ファイアウォールが無効化されない」
- ◆ 3 ページの「暗号化ダイアログボックスの情報が正しくない」
- ◆ 3 ページの「ZENworks Security 4.0 Client for Vista のインストール後、クライアントへのログインを指示される」

2.1.1 ZENworks Endpoint Security Management 4.0 Client for Vista の未対応機能

ZENworks Endpoint Security Management 4.0 Client for Vista で未対応の機能 (または一部のみ対応の機能) は次のとおりです。

- ◆ クライアントセルフディフェンス。
- ◆ モデム対応。
- ◆ スクリプト作成。
- ◆ ロケーション内のファイアウォールの手動変更。
- ◆ ロケーション内の複数ファイアウォールの視覚化。デフォルトのファイアウォールのみ利用可能にする機能。
- ◆ 整合性ルール。
- ◆ アプリケーションのブロック。
- ◆ システムトレイアイコンのツールチップ表示が変更された。アイコンがポリシーおよびロケーション情報しか表示しない。
- ◆ USB 接続。
- ◆ Wi-Fi キーの管理。
- ◆ 有線接続が無線接続より重視されることがなくなった。
- ◆ ZENworks Security Client の更新プログラム (ポリシー別)。
- ◆ VPN 認証のタイムアウト。
- ◆ ストレージデバイスコントロールの自動再生。
- ◆ ネットワーク環境内の電話帳エントリ。

2.1.2 Vista ファイアウォールが無効化されない

ZENworks Endpoint Security Management 4.0 Client for Vista は、Windows Vista のファイアウォール設定を無効化しません。ZENworks Endpoint Security Management ファイアウォールまたはネイティブの Vista のいずれか一方を使用してください。両方を使用することはお勧めできません。Vista のファイアウォールは GPO ポリシーを使用するか、[All Open(すべて開く)] に設定するだけで無効にできます。Novell のサポート Web サイト (<http://www.novell.com/support/microsites/microsite.do>) 上で TID #7002061 を参照してください。

2.1.3 暗号化ダイアログボックスの情報が正しくない

暗号化ポリシーを使用すると、最初は、ポリシー内の Safe Harbor フォルダに関する情報が暗号化クライアントダイアログボックスに正しく表示されません。この現象は、場所が変更されたために発生します。正しくない情報は約 2 分間表示されます。この現象が発生している間も、表示が正しくないだけで、暗号化は正しく機能しています。

クライアントの同期が終了すると、正しい情報が表示されます。Novell のサポート Web サイト (<http://www.novell.com/support/microsites/microsite.do>) 上で TID #7002060 を参照してください。

2.1.4 ZENworks Security 4.0 Client for Vista のインストール後、クライアントへのログインを指示される

ユーザに対して、資格情報を入力して ZENworks Endpoint Security Management Server にログインするよう、指示が出される場合があります。このプロンプトが表示されるのは、ZENworks Endpoint Security 4.0 Client for Vista をインストールした後に一度だけです。この原因には次のことが考えられます。

- ◆ バックエンドサーバが Novell eDirectory 上に存在する。
- ◆ ユーザがドメインを介さずに、ローカルにコンピュータにログインしている。
- ◆ ユーザが Microsoft Windows ではなく NetWare[®] を経由してログインしている。
- ◆ 管理者がインフラストラクチャの認証ディレクトリの設定で、ユーザまたはコンピュータが存在するコンテナを追加するための検索コンテキストを正しく設定していない。
- ◆ コンピュータまたはユーザの SID が無効になっているため、新しい SID を作成する必要がある。
- ◆ ユーザが eDirectory や Active Directory* と直接通信せずに、Windows のディレクトリサービスを使用している。
- ◆ ZENworks Configuration Management Client が Dynamic Local User(DLU) 機能を使用しており、一時的ユーザが有効になっている。

注：複数の eDirectory ユーザが、同じローカル管理者ユーザアカウントを使用してコンピュータにログインしている場合、すべてのユーザに同じポリシーが適用されます。各 eDirectory ユーザには、固有のローカルユーザアカウントが必要です。

2.2 インストール

Novell ZENworks Endpoint Security Management 3.5 with 4.0 Client for Vista はクライアント製品で、32 ビット版 Microsoft Vista Support Pack 1 に対応しています。この項では、ZENworks Endpoint Security Management 4.0 for Vista のインストール時に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 3 ページの「32 ビット版 Windows Server 2008 に対応」
- ◆ 4 ページの「Windows Vista 64 ビットオペレーティングシステムには未対応」

2.2.1 32 ビット版 Windows Server 2008 に対応

ZENworks Endpoint Security Management 4.0 Client for Vista のコンポーネントは、32 ビット版 Microsoft Windows Server* 2008 に対応しています。

2.2.2 Windows Vista 64 ビットオペレーティングシステムには未対応

ZENworks Endpoint Security Management は、Windows Vista 64 ビットオペレーティングシステム上では動作しません。32 ビット OS 上の 64 ビット CPU には対応しています。

2.3 通信ハードウェアの制御

この項では、ZENworks Endpoint Security Management 3.5 with 4.0 Client for Vista を使用して通信ハードウェアを制御する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 4 ページの「サポート対象のデバイス」
- ◆ 4 ページの「サポート対象のデバイスかどうかの確認」

2.3.1 サポート対象のデバイス

Widcom ベースの Bluetooth* ソリューションはほとんどがサポートされています。次のデバイスがサポートされています。

- ◆ Microsoft 標準タイプの GUID {e0cbf06cL-cd8b-4647-bb8a263b43f0f974} を使用するデバイス
- ◆ Dell* USB Bluetooth モジュール、Dell タイプの GUID {7240100F-6512-4548-8418-9EBB5C6A1A94} を使用するデバイス
- ◆ HP*/Compaq* Bluetooth モジュール、HP タイプの GUID {95C7A0A0L-3094-11D7-A202-00508B9D7D5A} を使用するデバイス

2.3.2 サポート対象のデバイスかどうかの確認

- 1 Regedit を開きます。
- 2 HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Class に移動します。
- 3 4 ページのセクション 2.3.1 「サポート対象のデバイス」に一覧表示されている上記 GUID キーを検索します。Microsoft キーは、複数のサブキーが含まれていないと有効ではありません。

2.4 データの暗号化とパフォーマンス

データ暗号化は、? システムボリューム以外? のボリュームおよびリムーバブルストレージデバイス上でのみ機能します。この項では、ZENworks Endpoint Security Management 3.5 with 4.0 Client for Vista のデータ暗号化を使用する際に発生する可能性があるパフォーマンスの問題について説明します。

- ◆ 5 ページの「暗号化が有効な状態でリムーバブルストレージデバイスにフォルダをコピーする」
- ◆ 5 ページの「暗号化された RSD にアプリケーションが直接保存する場合、パフォーマンスの問題が発生することがあります。」
- ◆ 5 ページの「RSD 暗号化されたドライブからセーフハーバー暗号化された固定ドライブに複数のファイルをコピーする」

2.4.1 暗号化が有効な状態でリムーバブルストレージデバイスにフォルダをコピーする

複数のファイルとフォルダを含むフォルダを、暗号化が有効な状態でリムーバブルストレージデバイス (RSD) にコピーすると、通常よりも長い時間がかかります。たとえば、弊社のテストでは、38MB のフォルダをコピーするために 5 ～ 6 分かかりました。

2.4.2 暗号化された RSD にアプリケーションが直接保存する場合、パフォーマンスの問題が発生することがあります。

暗号化された RSD にアプリケーションが直接保存する場合、コンピュータのパフォーマンスにも影響を及ぼす可能性があります (アプリケーションによって使用されるファイル書き込みサイズに依存します)。

2.4.3 RSD 暗号化されたドライブからセーフハーバー暗号化された固定ドライブに複数のファイルをコピーする

RSD 暗号化されたドライブからセーフハーバー暗号化された固定ドライブに複数のファイルをコピーすると、かなりの時間を要する可能性があります。

2.5 ファイアウォール

この項では、ZENworks Endpoint Security Management 3.5 with 4.0 Client for Vista をファイアウォールと共に使用する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 5 ページの「動的に割り当てられたポートの使用」
- ◆ 5 ページの「FTP セッションの使用」

2.5.1 動的に割り当てられたポートの使用

ZENworks ファイアウォールは、ほとんどのモードで、動的に割り当てられたポートへの着信接続を拒否します。アプリケーションで着信接続が必要な場合は、ポートを静的に割り当て、[Open(オープン)] に設定したファイアウォール設定を作成して、着信接続を許可する必要があります。着信接続が既知のリモートデバイスからのものである場合は、ACL を使用できます。

2.5.2 FTP セッションの使用

デフォルトの [すべて適応 (ステートフル)] ファイアウォール設定では、アクティブ FTP セッションが拒否されるため、パッシブ FTP セッションを使用する必要があります。アクティブ FTP とパッシブ FTP の詳細については、Slacksite の Web サイト (<http://slacksite.com/other/ftp.html>) を参照してください。

2.6 ローカリゼーション

この項では、ZENworks Endpoint Security Management 3.5 with 4.0 Client for Vista のローカリゼーションと関連して発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ クライアントは暗号化ポリシーが有効な場合にアンインストールされ、MSI プロパティは (SESMSG=1) に設定されます。

2.7 ネットワーク環境

この項では、ZENworks Endpoint Security Management 3.5 with 4.0 Client for Vista を使用してネットワークを管理する際に発生する可能性がある問題について説明します。

2.7.1 アダプタ固有のネットワーク環境の使用

無効になるアダプタ固有のネットワーク環境を使用すると、クライアントは、その環境が割り当てられている場所と不明な場所との間の切り替えを繰り返す可能性があります。これを防ぐには、ネットワーク環境のアダプタタイプを、その場所でも有効なアダプタに設定します。

2.8 ストレージデバイス

この項では、ZENworks Endpoint Security Management 3.5 with 4.0 Client for Vista を使用してストレージデバイスを管理する際に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 6 ページの「USB デバイスの制御」
- ◆ 6 ページの「CD/DVD デバイスの制御」

2.8.1 USB デバイスの制御

すべての USB ディスクドライブにシリアル番号があるとは限りません。ポートとドライブの組み合わせに依存するシリアル番号や、一意ではないシリアル番号を持つディスクドライブが存在する場合があります。ほとんどの USB メモリには、一意であると思われるシリアル番号が付いています。

2.8.2 CD/DVD デバイスの制御

ZENworks Security Client をインストールした後に、CD/DVD 書き込みデバイスを増設する場合、Roxio* や Nero* などのサードパーティの書き込みソフトウェアを使用していると、そのデバイスに読み取り専用許可を指定するポリシーは適用されなくなります。

また、GPO ポリシーが CD/DVD 書き込みデバイスの制御を試みると競合する可能性があるため、デバイスの制御は 1 種類の方法だけで行います。この注意点は、フロッピーディスクドライブコントローラにも適用されます。

2.9 VPN 接続

この項では、ZENworks Endpoint Security Management 3.5 with 4.0 Client for Vista を使用して VPN 接続を管理する際に発生する可能性がある問題について説明します。

2.9.1 VPN の設定

- ◆ ZENworks Endpoint Security Management は、VPN 設定時のスプリットトンネルの使用に対応していません。
- ◆ ZENworks Endpoint Security Management では、VPN IP がファイアウォール ACL に自動的に追加されることはありません。ユーザが手動で、VPN IP を「VPN の切り替え先」ロケーションファイアウォールに追加する必要があります。

3 マニュアルの表記規則

このドキュメントでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します？

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

4 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、「[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/)」の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2007-2008 Novell, Inc. All rights reserved. 本書の一部または全体を、書面による同意なく、複製、写真複製、検索システムへの登録、送信することは、その形態を問わず禁止します。

米国 Novell, Inc. は、本文書に記載されている製品に実装されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、「[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/)」の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。